



機能の概要

一般的な発見事項およびエンゲージメントに関連する発見事項を作成する機能 (ARI-16846)

一般提供予定: 2022 年 11 月

Supplier Risk 内での発見事項の作成

説明

- この機能により、SAP Ariba Supplier Risk で発見事項を作成する機能が導入されます。一般的な発見事項、またはエンゲージメント、コントロール、またはサービスに固有の発見事項を作成することができます。また、組織内で、さらには外部当事者とコラボレーションを行うこともできます。これは、現在の取引相手の問題管理ではできなかったことです。

メリット

- 組織内または第三者に関係なく、すべての関与当事者間で、効率的かつシームレスなデジタルコラボレーションを1つのプラットフォームで行うことにより、アクセスコントロールと確かな監査証跡を提供しつつ、発見事項に迅速に対応することができます。

ユーザー

- バイヤー

イネーブルメントモデル

- お客様が設定

対象ソリューション:

- SAP Ariba Supplier Risk

前提条件、制限事項、注意事項

前提条件

- SAP Ariba Supplier Risk だけでなく、サイトに SAP Cloud Identity Services - Identity Authentication および [発見事項およびイベントコラボレーション] 機能が含まれていることを確認します。
- エンゲージメント内からの発見事項の作成を計画している場合: コントロールに基づくエンゲージメントリスクアセスメントプロジェクトを使用できるようにサイトが設定されていることを確認してください。

制限事項

- 2211 リリースでは、[発見事項およびイベントコラボレーション (FEC)] は、EU のデータセンターでホストされる顧客のみが使用できます。ほかの顧客はすべて、ホストされているサイトで FEC が使用可能になるまで、引き続き問題管理を使用することになります。
- 問題と発見事項の目的は、類似していますが、まったく同じではありません。発見事項には、独自の機能およびワークフローがあります。発見事項機能を有効化すると、問題に関連する機能が以下のいずれかの方法で処理されます。
 1. 一部のエンゲージメント機能では、**問題と発見事項の両方を考慮することができます** (両方とも存在する場合)。
 - エンゲージメントページには、エンゲージメントに関連する問題が一覧表示されたテーブルが含まれます。発見事項機能を有効化すると、そのテーブルに問題のタブと発見事項のタブが表示されます。
 2. ほかの機能は、**問題に固有であり、発見事項には適用されません**。
 - パラメータ [問題プロジェクトの表示を役割別に制限する] (Application.SR.IssueManagement.IssueVisibilityFilterByRole) は、発見事項ではなく、問題にのみ適用されます。
- 選択したサプライヤに関連付けられた連絡先は、サプライヤが作成され、外部チームメンバーとして追加できるようになった時点で発見事項に追加されます。作成後、発見事項でこの連絡先の一覧を更新する方法はありません。
- 活用する業界の最良事例 ([影響]、[予想される影響]、[予想される可能性] フィールドの値など) は、SAP Ariba によって事前定義されており、設定することはできません。

発見事項の作成

1. バイヤー/発見事項の作成者は、新しい発見事項を作成することができます。
2. イニシアチブを簡単に説明し、関連ドキュメントを添付します。
3. 適切なリスクの優先順位付けが行われるように、リスクの影響および可能性が評価されます。
4. 対応するエンゲージメント申請から主要メタデータが自動的に取得されます。
5. 提出すると、発見事項が「検証」段階に移行します。

The screenshot shows the 'Create finding' form in SAP. The form is titled 'Create finding' and is part of the 'Finding and Event Collaboration' module. The form is divided into two main sections: 'Details' and 'Metadata'. The 'Details' section includes the following fields:

- Name: * Crete menu E2e
- Type: * Risk
- Description: * Crete menu E2e
- Attachments: 1.pdf x
- Influences: Regulatory & Legal x
- Anticipated Impact: Negligible
- Anticipated Likelihood: Improbable

The 'Metadata' section includes the following fields:

- Supplier: ALLIANZ INSURANCE PLC, LIPHOOK, GB, Haslemere Road...
- Commodities: Data base management system software
- Regions: Asia Pacific
- Departments: Manufacturing

At the bottom right of the form, there is a 'Submit' button and a 'Cancel' button. The form is annotated with yellow circles and numbers 1 through 4, corresponding to the steps in the list on the left.

発見事項の検証

1. 発見事項の検証者が発見事項を確認します。
2. 説明の検証、期限の割り当て、および発見事項テキストの検証を行うことができます。
3. 次に、中間手順として該当する対応調整者を割り当てるか、(内部および外部の) 分析チームメンバを直接割り当てます。
4. 最後に、期限を割り当てると、発見事項が「分析中」段階に移行します。

The screenshot displays the SAP Finding and Event Collaboration interface. The main view shows a finding titled "Create Menu E2E" with a status of "In Validation" (marked with a circled 1). The finding details include "Supplier: ALLIANZ INSURANCE PLC, LIPHOOK, GB, Haslemere Road (S10008702)", "Commodities: Data base management system so...", "Regions: Asia Pacific", "Departments: Manufacturing", and "Business Impact: High".

On the right, a "Manage Teams" panel lists roles and team members: "Finding Validator" (Fazal Ilahi, Andre Cabrera), "Buyer" (Fazal Ilahi, Andre Cabrera), and "Finding Validator" (Fazal Ilahi, Andre Cabrera).

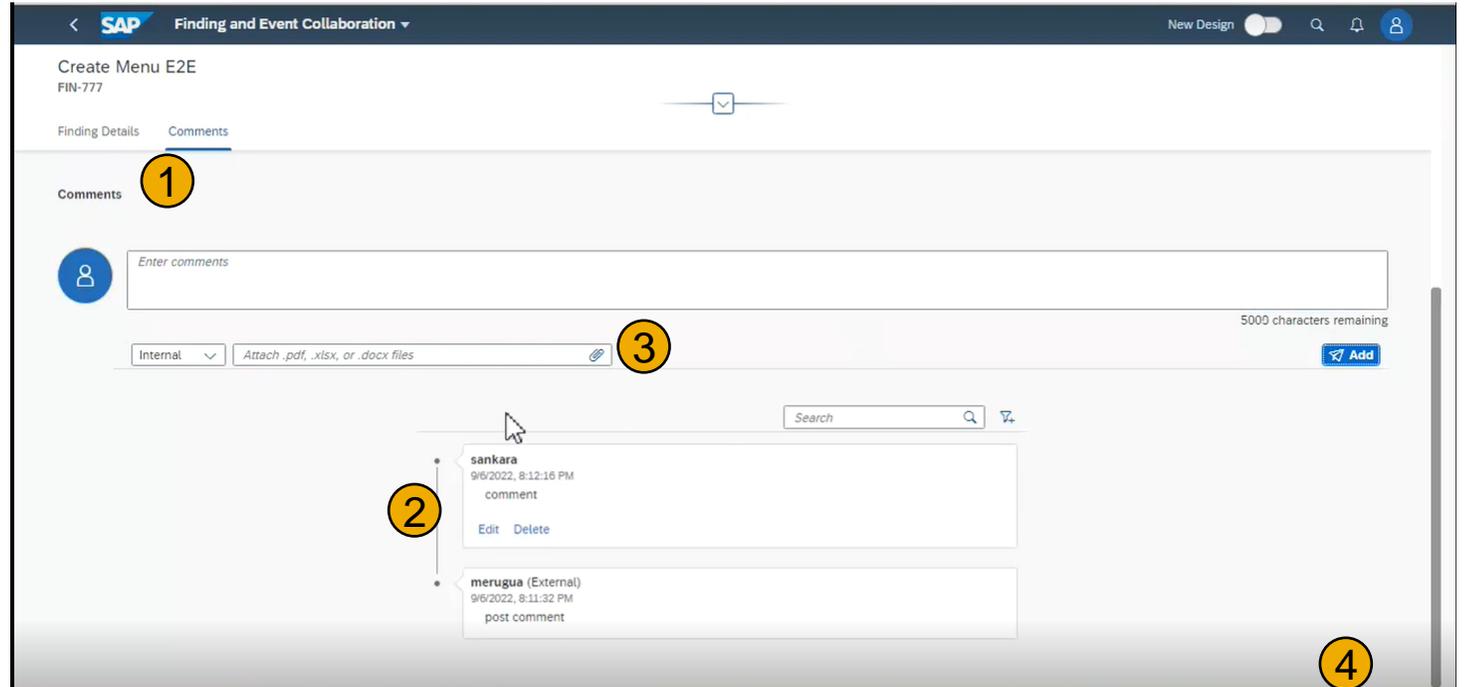
Below the main view, a "Finding Details" section (marked with a circled 2) shows "Type: Risk", "Anticipated Impact: Moderate", "Influences: Financial", and "Anticipated Likelihood: Occasional".

Two "Select Member" pop-up windows (marked with a circled 3) are shown, allowing the user to select team members for the finding. The first window lists members like Alberto Garcia Marquez (Finding Analyzer), Finding ResponseCoordinator, Archie Shell (Finding Analyzer), Archie Rooney (Finding Analyzer), and Appaiya Merugu (Finding Response Coordinator). The second window lists members like dongmei cui, test test, chaochaoHappy chongNice, and My User.

An "Acknowledge" dialog box (marked with a circled 4) is also visible, asking "Acknowledge finding?" and providing a "Due Date" field (with a calendar icon), an optional comment field, and "Acknowledge" and "Cancel" buttons.

発見事項の分析および実行

1. 分析担当者、検証者、または外部ユーザーが発見事項に対して積極的にコラボレーションを行います。
2. これにより、さまざまな当事者が意見を交換して、必要な対策および実施の進行状況を調整することができます。
3. 同じプロセスを通じて発見事項の対応計画のようなドキュメントを交換することができます。その一方で、監査証跡が記録されます。
4. 最後に、確認者が割り当てられます。



発見事項の確認および承認

1. 確認者は、発見事項の結果を確認することができます。
2. 対策の有効性を慎重に確認してリスクに対処した後、発見事項を終了して、将来のサプライヤリスクスコアを調整することができます。
3. 最後に、発見事項を回答の確認/承認に移行するか、直接完了することができます。

The screenshot displays the SAP Finding and Event Collaboration interface. The main panel shows finding details for 'Create Menu E2E' (FIN-777) with a status of 'In Analysis' and a business impact of 'High'. The 'Anticipated Likelihood' is 'Occasional'. A 'Finding Response (Draft)' panel on the right allows for setting a 'Target Resolution Date' (Sep 9, 2022), 'Anticipated Impact After Analysis' (Moderate), and 'Anticipated Likelihood After Analysis'. A dropdown menu for likelihood is open, showing options: Improbable, Remote, Occasional, Probable, and Frequent. A 'Submit Response' button is visible. A modal dialog titled 'Accept' is overlaid, asking 'Accept finding?' and providing a text input field for an optional comment. The dialog has 'Accept' and 'Cancel' buttons.

①

②

③

ユーザーの事例

- **発見事項の作成**
 - バイヤー: 発見事項を作成し、エンゲージメント申請に関連する固有のサプライヤリスクに対して、それぞれのリスク分析担当者およびサプライヤとコラボレーションを行います。
- **発見事項の検証**
 - 検証者: 実際のコラボレーションが開始される前に、発見事項を確認および承認します。
- **発見事項の分析および実行**
 - リスク分析担当者: リスクに対処するための必要な対策を提案し、サプライヤおよび後続のすべての関連コミュニケーション(後続のドキュメント交換を含む)との調整を行います。
- **発見事項の確認および承認**
 - リスクマネージャ/確認者: イニチアチブの完了後、実施した対策の有効性を検証し、発見事項が終了します。その後、サプライヤリスクスコアが自動的に更新されます。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/trademark をご覧ください。